

医師を目指す高校生が大学病院の救命最前線で学ぶ「早期医療体験」。この教育支援プログラムの一環として、心臓手術のエキスパートらを招き、次代の担い手に何が求められるのかを考えるフォーラムを開催します。医師になりたい、外科に関心のある高校1年生の参加をお待ちしています。

高校生向け 早期医療体験プログラム

高校生が実際の医療現場で学ぶ教育支援事業。順天堂大学と読売教育ネットワークが連携して2015年に始まった。17年からは大阪大学も生徒を受け入れはじめ、これまでに約60人が医師の心構えや命の重みを胸に刻んでいる。18年度は日本医師会が特別協賛する。

心臓手術のエキスパートと交流!



医師 20人を特別招待 高校1年生募集

9月8日(土) 早期医療体験 報告交流フォーラム
 【会場】読売新聞東京本社(東京・大手町)
 フォーラム14:30~17:15 / 懇親会17:30~19:15

●プロフェッショナルと語り合おう

講演の後は、3氏を交えたグループディスカッション。10年後、20年後の医療はどうなるのか—プロフェッショナルの考えを知る貴重なチャンスです!



横倉 義武
日本医師会 会長

日本人3人目となる世界医師会会長も兼任。社会保障制度の安定と持続可能性向上を目指し、世界規模の医療課題に取り組む。



天野 篤 順天堂医院 院長
順天堂大学心臓血管外科教授

心臓を動かしたまま行う冠動脈バイパス手術の第一人者で、天皇陛下の手術も執刀した。これまで手がけた心臓手術は7800件を超える。

澤 芳樹

大阪大学心臓血管外科教授

心臓移植・補助人工心臓植え込み術など最先端治療を主導。iPS細胞を使った心臓病治療に向け、今年度にも世界初となる臨床研究を始める。



●過去のプログラム参加者も

プログラムOB・OGの現役医大生と高校2年生、3年生約50人が参加します。同世代の学生たちと、本音の交流をしてみませんか?



8月5日(日) 締切 お申し込みはこちらから →



問い合わせ 読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局 ☎03-6739-6985 (平日10:00~17:00) ✉ednet@yomiuri.com

※応募多数は抽選、教育ネットワーク参加校の生徒を優先。参加には保護者と担任教諭の承諾が必要です。当日の様子は読売新聞紙上やウェブサイト等で紹介され、写真や動画が掲載されます。取材へのご協力をお願いします。